

見積仕様書

第1節 業務概要

本業務は、過年度に重力式コンクリートダムにおいて採取したコンクリートコア供試体を用いて、超音波伝播速度の計測およびコンクリート探傷剤を用いたひび割れ調査を行うものです。

対象施設は、吉野川水系の新宮ダムとします。

第2節 業務内容

2-1 超音波伝搬速度の計測

1. 試験に用いる供試体は、コンクリートコア供試体（直径 230mm）を用います。
2. 試験に先立ち、現地においてコア供試体を長さ 100mm 程度に切断した後、コア保管場所から受注者が試験を実施する場所まで運搬し、受信器と発信器を設置する面の大型コア供試体の端面整形を行います。コアの採取位置は、監督員の立会のもとで決定するものとします。
3. 試験方法は、「コンクリート構造物の弾性波による試験方法-第1部：超音波法」（NDIS 2426-1:2009）により、供試体内を透過する超音波の伝搬速度を計測するものとします。
4. コア供試体をコア保管場所から試験を実施する場所までの運搬に際しては、運搬時の衝撃によりコアに損傷が生じることがないように、梱包材等により保護するものとします。

2-2 コンクリート探傷剤を用いたひび割れ調査

1. 超音波伝搬速度の計測後に、コア供試体（直径 230mm）をコンクリート探傷液の入った容器に浸漬させて、コア供試体内を脱気します。
2. 探傷剤で浸漬したコア供試体を切断後、紫外線照射を行い、供試体内のひび割れ進展状況を目視確認するとともに、探傷剤のコア内への浸漬状況を写真撮影するものとします。
なお、コア供試体の切断箇所は、監督員と協議するものとします。
3. コンクリート用探傷剤は、紫外線探傷灯（ブラックライト）の照射により、微細ひび割れできるなものを用いるものとします。使用材料に際しては、事前に監督員にカタログや品質証明書等を提出することとします。
4. 試験終了後は、元のコア保管場所に運搬するものとします。

第3節 その他

コンクリートコア供試体の保管場所は、以下のとおりです。

愛媛県四国中央市新宮町馬立 1144 番地

独立行政法人水資源機構 吉野川上流総合管理所 新宮ダム管理所

—以 上—